



会期=2022年1月12日(水)―3月6日(日)

開館時間=10:00-18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は閉館の30分前まで

休館日=2月7日(月)

観覧料=一般1,500円(1,200円) 大学生800円(640円) 小・中学生、高校生無料

※障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※()内は前売り、市内在住65歳以上の方の料金

※前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ、ローソンチケット(Lコード:35562)、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて1月11日まで販売(1月12日以降は当日券販売)

◎ナイトミュージアム割引 金・土曜日の18:00以降は観覧料が半額になります

◎本展チケットで5階常設展示室「千葉市美術館コレクション選」もご覧いただけます

主催=千葉市美術館 協力=日本航空 協賛=サンエムカラー

概要

19世紀後期～20世紀初めにかけて、大量に海を渡った日本の美術工芸品は、西洋の美意識に大きな影響を与え、ジャポニスムという動向として広がっていきます。中でも浮世絵版画は、多くの西洋画家たちに直接影響を与えたことが知られています。西洋の芸術家たちが浮世絵に出会った時、何を新しいと感じ、感動し、自らの芸術に取り入れようとしたのでしょうか。この展覧会は、ジャポニスムの画家たち作品が浮世絵から取り入れた視点をきっかけとして、浮世絵の特性と魅力を再発見しようとするものです。浮世絵の名品を中心に、欧米、ロシアからジャポニスムの作品を加えた約220点を展示する、これまでにないユニークなテーマの浮世絵展です。

※会期中、2月7日(月)に展示替えを行います。

記者レクチャー・内覧会

一般公開に先駆けて報道関係の皆様を対象に、記者レクチャーおよび内覧会を行います。展覧会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

1月11日(火)15:00-18:00(14:30開場)／8階展示室にて

参加ご希望の方は、同封の申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてご連絡ください。

本展の見どころ

●ジャポニスムとは？

19世紀後半から20世紀初めにかけて、多くの美術工芸品が西洋に渡り、初めて出会う日本の美意識は西洋に新鮮な驚きを与え、視覚表現に大きな変化が起こりました。これらの動向は「ジャポニスム」と呼ばれています。

なかでも、当時の日本人にとって身近な存在であった浮世絵版画は、フランスを中心にヨーロッパ全域、そして北米やロシアの芸術に影響を与えました。本展ではさまざまな視点からジャポニスムの熱狂が世界広がる様子を紹介します。



左:アンリ・ソム 《ジャポニスム》
右:ルイーズ・アベマ 《日本庭園のサラ・ベルナール》

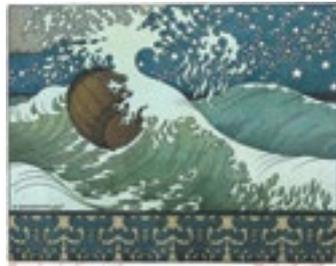
●北斎、広重にゴッホ、ホイットラー…総勢70人の作家による 浮世絵とジャポニスムの名品が一堂に

これまで、「ジャポニスム」というテーマでの展覧会では西洋美術史から言及されることが多かったのですが、本展ではジャポニスムに最も大きな影響を与えた浮世絵の構図や視点、色といった多角的なテーマから、ジャポニスムを検証し、現代では当たり前のように見えてしまっている浮世絵の魅力や特徴を再認識しようとするものです。

左:鈴木春信《夜の梅》
右:アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》



●北斎の大浪はいかに世界にインパクトを与えたのか？



葛飾北斎 《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》

イワン・ビリーピン 《アレクサンダー・プーシキン
著『サルタン王物語』挿絵(1/12-2/6展示)

世界で最も有名な浮世絵と言える、葛飾北斎の《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》。そのインパクトは、西洋の芸術活動に大きな影響を与えたばかりでなく、北斎以降の浮世絵師たちにとっても波が重要なモチーフとなったほどでした。本展では、北斎の「大浪」を発端に、国内外に展開した波の表現を紹介します。

●知られざる、ロシアのジャポニスムを紹介

ジャポニスムの動向はロシアでも見られましたが、これまで日本で本格的に紹介されることはありませんでした。本展では、北斎や広重から影響を受けたとされる、木版画を中心としたロシアにおけるジャポニスム作品を展示します。

展示構成

プロローグ ジャポニスムとは何か？

第1章 大浪のインパクト

第2章 水の都—江戸・橋と船

第3章 空飛ぶ浮世絵師—俯瞰の構図

第4章 形・色・構図の抽象化

第5章 黒という色彩—影と余韻

第6章 木と花越しの景色

第7章 四季に寄り添う—雨と雪

第8章 母と子の日常

エピローグ 江戸の面影—ジャポニスム・リターンズ

■ 展覧会関連イベント

内容やイベントが変更になる場合があります。詳細は美術館ホームページをご確認ください。

■ 新春の獅子舞

出演:登渡神社登戸神楽囃子連

1月15日(土)10:00～ 1階さや堂ホールにて獅子舞がお迎えます。

■ 講演会「ジャポニスムと浮世絵」

講師:及川茂(日本女子大学名誉教授)

2月20日(日) 14:00より(13:30開場予定)

11階講堂にて/定員100名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料

★「ジャポニスムをめぐる音楽～2台のベーゼンドルファーと共に～」(事前申込制)

出演:川口成彦(ピアノ)、中江早希(ソプラノ) 協力:伸和ピアノ

1月22日(土)、23日(日)いずれも14:00～(13:30開場予定)

1階さや堂ホールにて/入場無料(一般・大学生は要展覧会チケット)/定員100名

■ 千葉交響楽団メンバーによるコンサート「弦楽四重奏が奏でるジャポニスムの世界」

2月26日(土)14:00～(13:30開場予定)

1階さや堂ホールにて/入場料1,000円、高校生以下無料(当日12:00より1階にて販売)/定員100名

★空育®「JAL折り紙ヒコーキ教室」

2月5日(土)11:00～、14:00～/11階講堂にて/参加費無料/対象:小学生以上/各回定員10組(2名まで申込可)

■ 市民美術講座「ジャポニスムを通して浮世絵を視る」

講師:講師:田辺昌子(当館副館長兼学芸課長)

2月6日(日) 14:00より(13:30開場予定)/11階講堂にて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無

■ 市民美術講座「ジャポニスムとアメリカの画家たち」

講師:山根佳奈(当館学芸員)

2月27日(日) 14:00より(13:30開場予定)/11階講堂にて/先着80名(当日12:00より1階にて整理券配布)/聴講無料

★託児サービスデー(事前申込制)

1月15日(土)、2月26日(土)13:00-16:00

★のイベントは事前申込制につき、詳細、申込方法を美術館ホームページでご確認ください。

■ 同時開催

常設展「千葉市美術館コレクション選」

5階常設展示室 [休室日]第1月曜日 [観覧料]一般300円 大学生220円(企画展ご観覧の方は無料)

「つくりかけラボ06 岩沢兄弟|キメラ遊物園」

1月13日(木)～4月3日(日) 4階子どもアトリエ [休室日]第1月曜日 [観覧料]無料

■ 次回展予告

2022年3月12日(土)-3月31日(木) 「第53回 千葉市民美術展覧会/千葉市美術館所蔵作品による 房総ゆかりの美術」

4月13日(水)-7月3日(日) 「生誕100年 清水九兵衛/六兵衛」展

2022年4月13日(水)-7月3日(日) 「つくりかけラボ07 植本一子|あの日のことおぼえてる?(仮)」

※展示やイベントの内容などが変更になる場合があります。最新の状況はホームページをご確認ください。

※館内にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。

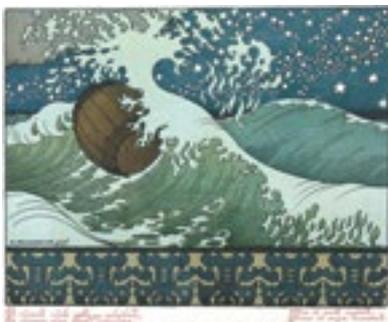
・体調のすぐれない方の来館はご遠慮ください。・咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底にご協力ください。

広報用画像一覧

展覧会広報用として作品画像をご用意しております。ぜひ、本展をご紹介しますようお願いいたします。ご紹介いただける場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてご連絡ください。画像の使用は1回限りとし、展覧会紹介の目的にのみご使用ください。



1 葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》
天保2-4年(1831-33)頃 個人蔵



2 イワン・ペリービン《アレクサンダー・プーシキン著『サルタン王物語』挿絵》1905年初版 国立国会図書館国際子ども図書館蔵(1/12-2/6展示)



3 アンリ・ソム《ジャポニスム》1881年 ジマリー美術館蔵



4 ルイズ・アベマ《日本庭園のサラ・ベルナル》1885年頃
ジマリー美術館蔵



5 鈴木春信《夜の梅》明和3年(1766)頃
メトロポリタン美術館蔵



6 アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》1893年 ジマリー美術館蔵



7 歌川広重《名所江戸百景 深川洲崎十萬坪》安政4年(1857) 個人蔵



8 鳥居清長《吾妻橋下の涼船》天明(1781-89)後期
メトロポリタン美術館蔵

広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

■写真ご使用に際してのお願い

- * 作品写真の使用は、本展のご紹介をいただける場合のみとさせていただきます。
- * 写真のご利用は、1 申込について1 回とし、使用後のデータは破棄してください。
- * 基本情報確認のため、広報担当まで一度校正紙をお送りください。
- * 掲載後、広報担当まで見本誌をご送付くださいますようお願いいたします。
- * お手数ですが、招待券プレゼントの受付、発送などは、貴編集部にてお願いいたします。原則として、掲載紙をご送付いただきました時に招待券をお送りいたします。

千葉市美術館
広報担当 磯野 行
FAX : 043-221-2316
E-mail : isono@ccma-net.jp

貴社名 : 媒体名 :
ご担当者名 : 発行予定日 :
TEL : 発行部数 :
FAX : 定価 :
Email : 掲載予定コーナー名等 :
画像到着希望日 : 月 日 時まで 画像の掲載サイズ (おおよそで結構です 例 : 5cm 四方、など) :

■画像データ申込 (ご希望のデータの番号に○をつけてください。)

- 1 葛飾北斎《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》天保2-4年(1831-33)頃 個人蔵
- 2 イワン・ビリーピン《アレクサンダー・プーシキン著『サルタン王物語』挿絵》1905年初版
国立国会図書館国際子ども図書館蔵(1/12-2/6展示)
- 3 アンリ・ソム《ジャポニスム》1881年 ジマーマー美術館蔵
- 4 ルイズ・アベマ《日本庭園のサラ・ベルナル》1885年頃 ジマーマー美術館蔵
- 5 鈴木春信《夜の梅》明和3年(1766)頃 メトロポリタン美術館蔵
- 6 アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック《ディヴァン・ジャポネ》1893年 ジマーマー美術館蔵
- 7 歌川広重《名所江戸百景 深川洲崎十萬坪》安政4年(1857) 個人蔵
- 8 鳥居清長《吾妻橋下の涼船》天明(1781-89)後期 メトロポリタン美術館蔵

■「ジャポニスムー世界を魅了した浮世絵」 プレゼント用招待券申込 (ご希望の場合はチェックをつけてください)

5組10名様分 希望します。

(それ以外の枚数が必要な場合は別途ご相談ください。)

チケット送付先

ご住所 : 〒

問い合わせ先

千葉市美術館

〒260-0013 千葉市中央区中央3-10-8

広報担当 : 磯野 愛

Tel. 043-221-2311 (代表) /043-221-2313 (直通)

Fax. 043-221-2316

E-mail. isono@ccma-net.jp

HP. <https://www.ccma-net.jp/>

Ukiyo-e Viewed through
JAPONISME
ジャポニスム
世界を魅了した浮世絵

記者レクチャー・内覧会 1月11日(火) 15:00～18:00 8階展示室にて

報道関係の皆様を対象に披露説明会および内覧会を行います。
展示会の見どころを担当学芸員よりご説明し、その後展示室をご覧ください。

[タイムスケジュール(予定)]

14:30～ 記者レクチャー会場開場
15:00～ 担当学芸員より展示室にてご説明
15:15～ 自由内覧

参加ご希望の方は下記項目にご記入の上、

FAX: 043-221-2316 または **E-mail: isono@ccma-net.jp**

までご返信ください。

ご芳名

ご所属

貴媒体名

お電話番号

E-mail